

プログラム責任者からのメッセージ

脳神経外科
教授 上羽 哲也

脳神経外科教授の上羽です。

みなさんの脳神経外科に対するイメージはどのようなものでしょうか？ 35年前、研修医だったころの私のイメージは、仕事がつく、なかなか一人前になれない科、でも“やりがい”はありそうでちょっと格好いいといったものでした。実際35年が経過して、脳神経外科は、手術だけではなく全身管理ができ、しかも研究もすることができる科で、きついと思うよりも“やりがい”を感じ、充実していることの方が多い科と感じています。幸い多くの研修施設が高知大学のプログラムに協力してくださっており、教育体制は充実しています。多くの先生方に入局していただき、教育指導していくことを楽しみにしています。下記の文章を読んでいただければ、きっとスタッフの躍動を感じていただけるでしょう。では、医局で。

プログラムの特色

初期研修修了後、脳神経外科専門医を目指すには、脳神経外科学会が認定する基幹病院（大学病院や大都市の大病院が中心）が計画する脳神経外科研修プログラムに参加する必要があります。

高知大学脳神経外科はプログラムを主催する基幹病院であり、本院を起点に広い地域での研修先選択が可能で、高知県内はもちろんのこと、札幌から福岡まで世界トップの施設で研修を受けることが可能となっています。臨床研修修了後、最低4年間は脳神経外科専従医師としてこれらの病院で脳神経外科指導医の資格を持つ専門医から研修を受けることが、脳神経外科専門医試験を受験する資格となっています。

また、本院のもう一つの特徴は、脳神経領域の基礎、臨床研究も十分に行えます。この間、学位取得を目指すことも可能です。

我々のプログラムでは専門医取得後、脳腫瘍、脳卒中、血管内治療、神経内視鏡などさまざまなサブスペシャルティ専門医取得に向け、多くの先輩から学び、より専門的な治療を行うさまざまな施設での研修が可能となっています。

連携施設名等

- 近森病院 ●回生病院 ●愛宕病院 ●もみのき病院 ●いずみの病院
- 県立幡多けんみん病院 ●京都大学医学部附属病院 ●福岡大学医学部附属病院
- 札幌禎心会病院 ●高知赤十字病院 ●内田脳神経外科 ●田野病院
- くぼかわ病院 ●野市中央病院 ●土佐市民病院 ●高知医療センター
- 県立あき総合病院

専攻医
週間スケジュール

高知大学医学部
附属病院の例

	月	火	水	木	金
午前	8:15 ～ 脳外科カンファレンス 8:30～ SCUカンファレンス				
	9:00 脳血管撮影 血管内治療	9:00 手 術	9:00 脳血管撮影 血管内治療	9:00 手 術	9:00 脳血管撮影 血管内治療
午後	13:00 リハビリ カンファレンス	手 術	血管内治療	手 術	血管内治療

専門医取得までの
タイムスケジュール

- 大学病院6ヶ月以上勤務（必須）
- 最低4年間研修施設にて研修後、脳神経外科専門医試験を受験

取得可能専門医

脳神経外科専門医

患者の全身管理（周術期および急性期）、血管撮影ならびに種々画像検査所見の判読、種々脳神経外科手術の手技、マイクロサージェリーの基本的手技

●日本脳卒中学会専門医	急性期および慢性期脳卒中患者の治療・管理
●日本脳神経血管内治療専門医	脳血管障害患者の診断と血管内治療 (脳動脈瘤、脳動静脈奇形、内頸動脈狭窄など)
●日本脳卒中の外科技術認定医	脳卒中の外科治療
●日本救急医学会救急科専門医	救急患者（脳神経外科疾患に限らない）の全身管理 救急患者の診断と救急処置・治療
●日本神経内視鏡学会技術認定医	神経内視鏡を用いた診断と治療

指導医の声

助教
竹村 光広

脳神経外科では脳腫瘍や脳血管障害、頭部外傷、てんかんなどの機能外科や脊髄疾患などを扱い、子供からお年寄りまで対象年齢は広く、顕微鏡手術や神経内視鏡、血管内治療など治療技術も多彩です。緊急・救命疾患から慢性・機能的疾患、近年は神経再生医療分野も臨床応用が期待され、今後必要とされる診療科であります。当科では希少な脳腫瘍だけでなく、脳卒中や救急疾患も受け入れ、指導医と共に積極的に専攻医の先生にも治療経験を重ねてもらっています。将来のサブスペシャルティやワークライフバランスについても相談しやすい環境となっており、まずは気軽に連絡をお待ちしております。

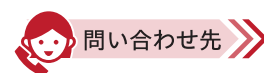
先輩の声

医員（レジデント）
川村 貴子

脳神経外科医といえば、顕微鏡を覗きながらちまちま手術をする、複雑な脳組織を扱う難解な職業、といった陰気でハードなイメージがあるかもしれませんが、脳疾患には様々なものがあり、脳卒中の救急対応、血管内治療、内科治療、緩和医療など、繊細でダイナミックで迅速な思考や行動が要求されるバラエティに富んだ診療科です。後期研修医期間は、まんべんなく症例を経験することが必要ですが、専門医取得後はやりたい分野にフォーカスを絞れます。救急の分野、リハビリの分野に重きを置いて診療に当たられる先生もいます。

2024年度から本格的に始まる医師の働き方改革では、デジタル技術も導入され、勤務時間内のパフォーマンスを向上させる、オン・オフのマネジメントなど医師を取り巻く環境も変わっていくであろうと期待されています。また、これからは医師のウェルビーイングも、他人に任せるのではなく自分ごととして考える時代だと思っています。

これまでの「外科は辛い…」の常識に囚われず、「脳」の世界に少しでも興味を持たれた方は、ぜひ気軽に当科を覗いて変化を確かめてみてください。お待ちしております。



問い合わせ先

■教室名／脳神経外科学
■担当者名／竹村 光広
タケムラ ミツヒロ

■電話／088-880-2397
■メール／im38@kochi-u.ac.jp